スマホが視覚障がい者の世界を変える！
夏季 スマホサポーター研修会
参加者募集

日 時
パート１：2025年８月２日（土）
パート２：2025年８月23日（土）
両日とも13時30分から16時

場 所
姫路市総合福祉会館４階
ボランティア活動室２

Digital Support HIMEJI

写真 スマホで音声コードを読み取り

対 象 者
視覚障がい者のためのスマホサポートをこれから始めたい晴眼者の方や当事者の家族の方

募集人数
５人、高度な操作技術は不要です。

内 容
視覚障がい者のくらしとスマホの重要性や、視覚障がい者が使用する読み上げ機能の基本操作と便利な使い方について学習します。

そ の 他
研修会にはアイホンの持参をお願いします。

趣 旨

◆ スマホは必須の生活ツール

「見えない人」や「見えにくい人」は、スマホのアプリを用いて印刷物を読んだり、スマホを歩行補助として活用したりすることができます。スマホは視覚障がい者のくらしを大きく変えると言われています。

当事者はボイスオーバーという読み上げ機能を用いてアイホンの操作を行います。しかし、独学で学習することが困難なため、講習会などで学習することが必要です。

◆ 多くのサポーターが必要

視覚障がい者の操作をサポートするためには、高度な操作技術は不要ですが、ボイスオーバーの操作知識と一定のスキルが必要です。一人でも多くの人にサポートに参加してもらうため、晴眼者向け研修会を開催しています。

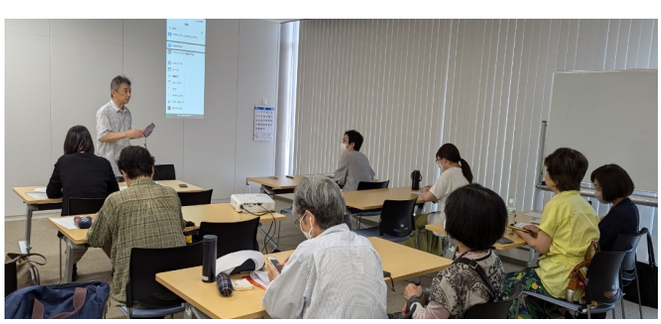

写真 サポーター研修会（2024年8月、姫路）

問合せ先・申込先

メール：姫路デジタルサポート（栗川）
info@digital-society.org
Ｔｅｌ：090-1182-8400

問合せフォームへ

主催：姫路デジタルサポート
連携団体：明石視覚障害者のためのスマホの会
高砂視覚障がい者スマホとデジタル化推進の会

右のマークは音声コード Uni-Voiceです。専用アプリで読み取り、音声で聞くことができます。

デジタルデバイド

スマホは必須の生活ツールと言われて久しいですが、視覚障がい者の中でスマホを有効に活用しているひとは、約２割と少ないのが実情です。スマホを「使える」と「使えない人」との格差が危惧されるところです。

私たちのミッション

ボイスオーバーの操作をサポートできる人が少ないことがスマホ普及の障壁となっています。兵庫県下では多くの地域でサポート団体がなく、サポートできる人もいません。

私たちは、そのようなサポートゼロ地域を解消するため、県下でサポーター500人育成計画を実施中です。

写真　ユーザーとサポーターの様子

どうやってアイホンを使うの？

ボイスオーバーによる音声案内に対して、指の動作（ジェスチャーといいます）で応え、アイホンを操作します。例えば、１本指の右・左スワイプでアイコンや項目を移動し、１本指のダブルタップで決定や実行を行います。

姫路デジタルサポートのホームページへ

「ボイスオーバーを初めて使う方へ」のページへ

スマホ教室の見学を！

私たちはスマホ入門講座を開催するほか、毎月定期的に中・上級者向けのスマホ教室や交流会などを開催しています。すべての講座で講師のほか、サポーターがマンツーマンでアドバイスを行います。

歩行支援アプリ、活字文書を読み上げる視覚支援アプリ、ラジオ番組を聞くアプリなど多様なニーズに対してサポート活動をしてます。

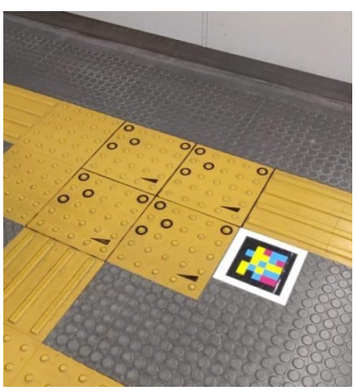

写真　歩行支援システム（コード化点字ブロックとNaviLensのコード）

■姫路デジタルサポート・明石視覚障がい者のためのスマホの会
高砂視覚障がい者スマホとデジタル化推進の会

左のマークは音声コードUni-Voiceです。

「見えない人」や「見えにくい人」のスマホ活用の普及を進めるボランティア団体です。兵庫県はりま地域において視覚障がい者向けスマホ使い方講習会など学習の場を提供しています。
連携団体と協働して、フォーラムなどイベントを開催し、一般の方や当事者へスマホ普及について啓発を行なっています。